

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	公共用地先行取得事業	所管部局	土木部

1	所管 室課	地域整備推進室	事業名	千里丘朝日が丘線用地取得事業			
事業概要							
千里丘朝日が丘線用地取得							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
令和 6 年度は、用地先行取得及び物件補償を実施。 (取得面積) 令和 3 年度 1.51㎡ 令和 4 年度 58.76㎡ 令和 5 年度 327.32㎡ 令和 6 年度 84.61㎡			決算額 (千円)	174, 597	247, 461	216, 707	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0. 0	0. 0	0. 0	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設 事業を計画的に推進するため、地権者との 合意形成を図り、任意交渉を基本として 用地取得を進めていくことが必要である。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				□ 有効性 □ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				□ 公平性 □ 持続可能性
						今後の実施計画 の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
地域整備推進室	元金償還事業		
地域整備推進室	利子償還事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

1	所管 室課	道路室	事業名	道路台帳等整備事業			
事業概要							
路線調書更新、市道認定・廃止、用地図面作成、官民境界等先行型地籍調査推進							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 路線調書更新 道路の認定、廃止等に合わせ道路台帳の調製を行った。 令和6年度：認定路線本数 19本、延長 2,428.6m 廃止路線本数 2本、延長 4,678.6m 変更路線本数 9本、延長 旧 1,809.7m 新 1,726.9m			決算額 (千円)	68,602	113,433	40,500	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	97.4	98.8	95.9	■ 有効性 ☐ 効率性
(2) 市道認定・廃止 私道の公道化に向けて調査及び図面の作成を行った。 (日の出町)			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
(3) 用地図面作成 道路用地の寄附に必要な調査及び図面の作成を行った。 用地測量 21件、土地調書作成 51件、境界標設置工 21件			道路の寄附、帰属、所管換え等に伴い、 調査及び図面の作成を行い、道路法に基 づく道路台帳を調製、保管する施策の基 礎的事業である。 施策の円滑な推進のため、適切な台帳の 調製に努めるとともに、資料の電子化を 推進し、業務効率化を図る必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
(4) 地籍調査 街区境界確定のための調査等を行った。(南吹田) 面積 2.9ha							継続
市道の適切な資産管理 に必要な業務であり、 予算を確保して実施し ていく。							

2	所管 室課	道路室	事業名	道路管理事業			
事業概要							
道路管理、路線道路補修、路側帯安全対策、不法投棄回収、すいた里親道路制度							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 道路管理 市管理の道路施設の保守点検、清掃等を実施し適切な維持を行った。 (2) 路線道路補修 市管理の道路施設の劣化や破損している箇所の補修及び小規模改良工事を行った。 令和6年度：舗装打換え面積（舗装補修工事）7391㎡ (3) 路側帯安全対策 路側帯の安全対策整備工事を行った。 令和6年度：路側帯安全対策工事 施工面積697㎡ (4) 不法投棄回収 市道上の不法投棄物を速やかに回収、処分し交通の確保に努めた。 (5) 緑あふれる未来サポーター 里親道路維持管理活動への支援を行い、道路美化の推進を図った。			決算額 (千円)	457,758	506,407	494,784	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	98.2	98.4	96.5	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
			道路は人や物の移動のためのほか、ライフラインを通すための空間の提供や災害時の避難路など、様々な役割を担う重要な社会インフラであり、そのような道路の適切な維持管理は、市民生活や経済活動にも直結した最も重要な業務である。しかし、道路の老朽化や管理対象施設の増加に加え、ニュータウン開発時に築造された道路構造物の更新時期を迎えていることから、費用の増加が見込まれる。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続
					道路を良好な状態に保つよう今後も経常的な実施が必要である。		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

3	所管 室課	道路室	事業名	道路ストック総点検事業			
事業概要							
橋梁等道路施設点検診断							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 道路施設定期点検業務 市管理の橋梁18橋、横断歩道橋3橋の点検を実施した。 (2) 道路ストック点検業務 市管理の街路灯1589箇所の点検を実施した。 (3) 路面下空洞調査 市管理道路において32.5kmの路面下空洞調査を実施した。 (4) JR岸辺駅南北自由通路点検 岸辺駅南北自由通路のJR西日本区間の範囲1,337㎡の点検を実施した。			決算額 (千円)	70,191	78,566	79,928	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	70.8	86.1	84.9	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			平成26年の道路法施行規則改正により、トンネル、橋、その他道路を構成する施設、若しくは工作物は点検が義務付けられている。老朽化に伴う第三者被害の発生を未然に防止することが安心安全の都市づくりにつながることから、コスト縮減を図りつつ、膨大な道路ストックを効率的に維持管理する必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
						今後も定期的な道路ストックの点検により、道路の維持管理に努める。	

4	所管 室課	道路室	事業名	道路新設改良事業					
事業概要									
道路新設改良、交通バリアフリー道路特定、路線道路舗装、私道舗装助成、自転車通行空間整備、狭小幅員整備									
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点		
(1) 道路新設改良 令和6年度は、穂波芳野線ほか9路線の改良工事を行った。 (2) 交通バリアフリー道路特定 令和6年度は、片山町31号線ほか2路線のバリアフリー化工事を行った。 (3) 路線道路舗装 令和6年度は、桃山台41号線ほか7路線の舗装更新工事を行った。 (4) 私道舗装助成事業 令和6年度は、助成申請がなかった。 (5) 自転車通行空間整備 令和6年度は、山田佐井寺岸部線ほか4路線の自転車通行空間整備工事を行った。 (6) 狭小幅員整備 令和6年度は、寄附を受けた道路用地に排水施設や舗装等の狭小整備工事を15件行った。			決算額 (千円)	923,710	677,781	797,992	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性		
			一般財源 の 比率(%)	38.8	31.7	34.4			
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容		
			社会基盤施設である道路のサービス水準を高めることは必要不可欠であり、特に快適な移動空間を整備することは、移動時間の短縮や移動の安全性、市民生活の高質化に繋がることから、今後も引き続き事業を継続していく必要がある。 交通バリアフリーについては、生活関連経路等のバリアフリー化整備率は令和6年度末で93.4%となった。大阪府の事業や民間開発事業の影響で完成年度が未定の路線があるが、それ以外については令和7年度で完成する予定。						
				引き続き、交通バリアフリー、道路舗装等を含む道路の新設改良を実施する。					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

5	所管 室課	道路室	事業名	交通安全施設整備事業			
事業概要							
交通安全施設整備							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
歩行者の安全確保及び交通事故を防止するため、道路反射鏡、区画線、防護柵等の工事を実施した。 令和6年度：道路反射鏡の新設及び補修等 106件 区画線の設置及び塗り直し等 4289m 防護柵等の設置及び補修等 54m			決算額 (千円)	54,064	52,428	41,485	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	31.8	36.3	23.4	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			交通事故防止など、交通安全に関する意識の高まりにより、更なる交通安全施策の推進が求められている。交付金を主な財源としているが、事業量の増加を考慮すると、財源の確保が今後の課題となる。				継続 交通安全に寄与するため、今後も継続的実施が必要である。

6	所管 室課	道路室	事業名	橋梁新設改良事業			
事業概要							
橋梁新設改良							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 橋梁長寿命化修繕計画（個別施設計画）に基づく活動 もものき橋補修設計業務及び江の木町二号橋補修設計業務を実施した。 (2) 耐震補強計画に基づく活動 令和6年度から令和8年度までの3か年をかけて行う高浜橋耐震補強及び補修工事の令和6年度分の工事として橋脚RC巻立てや支保補強等を実施した。 (3) 橋梁改良事業 藤白橋階段改良工事を実施した。 (4) 橋梁防護柵改良事業 市管理橋梁上の防護柵において、老朽化しているものや高さ基準を満足していない防護柵の改良工事として、昭和橋、岸部南一号橋の防護柵改良工事を実施した。			決算額 (千円)	166,153	195,242	261,102	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	28.3	24.3	4.1	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			令和4年吹田市橋梁長寿命化修繕計画及び橋梁耐震化計画に加え、橋梁定期点検の結果に基づき、約200橋の維持管理を行っている。これら計画及び点検結果を基に個別施設計画を作成し、予防保全的な老朽化対策や耐震化対策を実施している。ほかにも橋梁の新設、改良、橋梁防護柵等橋梁附属物の改良、橋梁撤去・集約等も実施していく。インフラストックの高齢化・老朽化対策は喫緊の課題であり、効率的・経済的だけでなく、持続性をもった事業推進が求められている。				継続 今後も適切なメンテナンスを実施し、予防保全型の維持管理に努める。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

7	所管 室課	道路室	事業名	街路灯管理事業			
事業概要							
街路灯管理、街路灯（防犯灯）補修							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
市民が安全かつ安心して暮らせる地域社会とするため、街路灯や防犯灯の補修、新設工事等を行った。 令和6年度：設置 128件、補修 333件、球替 34件 街路灯設置工事（その1） 片山高浜線自家用電気工作物更新工事 街路灯台帳システム保守業務			決算額 （千円）	115,095	85,767	134,593	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			LED化により、灯具の更新までの期間は 延びているが、新設要望は依然として多 く、また、これまでに設置した街路灯の 支柱更新など、今後も継続的な費用が必 要となる。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	道路上の防犯と安心・ 安全に繋がる事業であ り継続的な実施が必要 である。

8	所管 室課	道路室	事業名	道路受託復旧事業			
事業概要							
道路受託復旧							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
舗装復旧面積			決算額 (千円)	0	0	0	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
令和4年度	0㎡		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
令和5年度	0㎡		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
令和6年度	0㎡		令和2年1月1日に吹田市道路占用工作 物工事執行規則の一部改正が施行され、 舗装本復旧工事を原則工事施工者が施行 することになった。道路管理者として必 要な場合は、市が受託して施行するが、 今後、道路受託復旧事業は縮小する見込 みである。				
						縮小	原則工事施工者が施行 するため、事業は縮小 する見込みである。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

9	所管 室課	道路室	事業名	街路樹等管理事業			
事業概要							
街路樹等維持管理、草花等維持管理							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
道路環境を保全し、快適な道路空間や都市景観の形成を目的に、市が管理する街路樹等の剪定や除草等の維持管理を行った。 令和6年度：（定期業務） 除草及び低中木剪定 16業務 高木剪定 11業務 草花植付 2業務 （不定期業務） 除草、剪定業務 53件 樹木健全度調査 川園地区ほか			決算額 （千円）	283,544	335,600	339,042	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	89.5	86.4	99.1	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			豊かなみどりの環境は、吹田市のブランドの一つであり、道路環境の改善に様々な役割を果たしていることから、今後も緑の保全と育成を図る必要がある一方で、街路樹の大径木化、高齢木化が進行し維持管理費の増大につながっている。他にも、除草や剪定の年間の回数の増加を望む声があるなど、様々な要望を受けており、沿道利用者との調和を図った適正な緑の形成と維持管理を行う必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
			継続				街路樹等の適正な維持 管理を実施するため継続 的な実施が必要である。

10	所管 室課	地域整備推進室	事業名	都市計画道路管理事業			
事業概要							
都市計画道路管理							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
令和6年度は、都市計画道路残地の売却等に向けた関係部局との調整を実施した。			決算額 (千円)	3,731	0	0	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			・都市計画道路整備完了後の残地について、公共用地としての活用又は売却処分の検討が必要である。 ・用地の維持管理（除草等）が必要である。			継続	
						廃止路線の取得済み用地は、令和8年度末までに売却等処分を目指す。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

11	所管 室課	地域整備推進室	事業名	都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設事業		
事業概要						
都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
令和6年度の主な業務 (1) 道路用地の取得に係る業務 ・用地補償総合技術業務 ・支障物件調査業務(再算定(その2)及び追加調査(その2)) ・支障物件調査業務(その2) ・支障物件調査業務(その3) ・再算定業務(その3) (2) 道路の設計等に係る業務 ・道路擁壁ほか詳細設計業務 ・道路等詳細設計業務		決算額 (千円)	38,549	41,713	186,076	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	41.8	63.2	19.6	☐ 有効性 ■ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		計画期間内の事業完成を目指し、任意取得を進めているが、権利者との合意形成や所有者等特定不能土地に関する諸手続きに時間を要することが見込まれる。			今後の実施計画 の方向性・内容	
					継続	
			令和9年度末の整備完了に向けた用地交渉の実施。			

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名